		1 17%	20	十一尺	<b>T</b> 177	<b>木川 1四 /</b>							
No.		事	務国	分舞鶴園老人ホ	ニーム運営事業	É			所属				
		事業	台	あい支えあうま					所属課長				
政策				長名 後庵 嘉江	X								
体系	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /			記述の推進 *の白立志授サ	ビュの#4:4				所属 語				
		) 4 会計	京教育	ずの自立支援サ・ □ 項 ┃ 目 ┃	事業	事業名		11.					
		一般	0 3		<del>丁未</del> 17010	管理運営	費	── 法令  老人 ── 根拠  び管		霧島市立養護老人; る条例。	ホームの設置及		
				方、手順、詳細						事業期	間		
				持及び生活の安治						□ 単年度のみ			
				1雰囲気と、住みよ :ある施設で、市が			(、王	きかいを感しられる	図生活を	三 兴左帝/45			
214 10		_,,,	- подп							☑ 単年度繰返	S 48 年度~)		
										□ 期間限定複数			
										上(年度			
	見状把握の部(1										,		
	事務事業の目的		標					<b>・イチナナビュ</b> 素(1	± 75 ± 11/ -	72 <b>-</b>			
	F段(主な活動) <mark>年度実績(20年</mark>		行った	士か纤動)				<u> </u>	<del>事務事業の</del> 名称	活動量を表す指標)	<u>単位</u>		
介護	、看護、食事の提	供、兌	栄養管理	、クラブ活動、レク	リェーション、生	活指導、入		λ 所者数 (		ごスを提供した人			
所者	の処遇計画、預力	り金	の管理、	各種納付、受け取	ניט			ア	י כאוטוי		人		
							_						
		度に	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1					
前年	度と同様							לי					
	14 / <del>1</del> 4 /7+1	14.1-	-     \	704) 4   14	<b>台 42.2010年</b>				. 1 de - 1 s s				
				<mark>るのか) * 人や</mark> 経済的理由、環境		)ある程度		対象指標(	<u>対象の大きる</u> 名称	を表す指標)	単位		
自立	した生活が送れる	方。)	)	入所者は、別事業	で開催される福	祉事務所の		ア人所者数	H10		人		
入所	判定委員会事業	におい	ハて決定	<b>される</b> 。			,	1					
	- 一の事業に	<b>- L</b> .	- <del>-</del>	会士 じこ本ニフィ	D.41)			ウーザ用指揮が		7 <b>克</b> 丽 6 法 <b>-</b> * <b>克</b> - * <b>-</b> *			
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す打 快適で明るい日常生活を送る。 名称											9 <u>指標)</u> 単位		
/\~	C.7,60 - H 113 - Z.7						1	ア	H-13-		7-12		
							7		イ 施設の管理運営に対する苦情件数 件				
4.	吉果(どんな結果	B 1 = 4	±7 \$ / <del>.  </del> 1.	+20t)				ウト位式用指	神(44円の	達成度を表す指標)			
介護	·福祉サービスが	受ける	aOTIII られる。	) <b>3</b> 07/J·)				上世界末日	<del>//示( 編末の</del> 名称	<u> </u>	単位		
							1	ア介護サービス・介護	護支援サービス	・福祉サービスの利用者数	人		
							7	イ ウ					
(2) 約	総事業費·指標	<del>等</del>	34 /A	18年度	19年度	20年度		21年度					
( ) .	の推	移	単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)					
	財 国庫支出 都道府県支	金	千円										
事	本道府県支   本道府県支   地方値   その他   一般財		千円				+						
) 坎 建	まり その他	1	千円	22,209	14,076	10,60		9,824					
投入量	ו ניה אניו		千円	28,566	35,880	41,38		42,312					
量—	事業費計(	<b>A</b> )	千円	50,775	49,956	51,98	53	52,136					
							+	-					
	トータルコスト(A) -		千円	50,775	49,956	51,98		52,136					
	活動指標	アイ	人	55	55		55	55					
	, H = 111 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ウ											
	11945	ア	人	55	55	į.	55	55			_		
	対象指標	イウ					-						
		ウア		未把握	未把握	未把	握						
	成果指標	1	件	0	0	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	0	0					
		ウ											
	- 位式田比==	ア	人	4,604	4,673	4,74	12	4,889					
	上位成果指標	1ウ					-						
(3) =	事務事業の環境		と住民										

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和48年国分重久241に開設され入所運営が始まった。平成11年12月現在地、国分重久269 - 3に移転される。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年4月1日、老人福祉法第17条第1項の規定による養護老人ホームの設備及び運営に関する基準が改正され、養護老人ホームにおいても入所者の 介護保険利用が可能になる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 家族から喜ばれている。(安心しておられる。)

	事務事業名	国分舞鶴園老	人ホーム運営事業		所属部	保健福祉部	所属課	国分舞鶴園
2	評価の部(SEE)	//J.//J.O. J.  /\texts					- 1 m - 1	
	政策体系との要 この事務事業の目的 策体系に結びつくか	勺は市(町)の政	□ 見直し余地があ 施設において、各支援			▼ 結びついてい で明るい日常生活を		
目的	が結果に結びついる	ているか?	■ 見直 b 余地があ			♥ 妥当である		DAX PTANICING O D 10
妥业			┃  【□兄且∪赤地かの ┃	の (珪	:Ш1 <b>Д</b>	▼ 女ヨじのつ	[珪田] →	
性評	なぜこの事業を市がらないのか?税金をする目的か?		措置入所理由は老人福 が困難な高齢者が入所				び「環境上の理	B由」により居宅にて生活をすること
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地があ	る【理	曲】之	☑ 適切である	【理由】 🞝	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		入所者定員55名で対象	き者は阿	見定すべき <sup>-</sup>	である。		
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある	【理由	a) 🕏	▼ 向上余地がな	い【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	へき水準との差 原因で成果向上	食事、レクリェーション、 希望者は介護保険外部				の快適な生活	を送られている。叉介護認定者で
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】	<b>₽</b>		▼ 影響有 【その	D内容】 🕤	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		入所者個人個人の日常 つながる。	常生活の	)世話をして	こくれる所が無くなり、	経済的負担の	増加、快適な生活環境の悪化に
価	想以事業との	統廃合·連携	□ 他に手段がある	5(具体	的な手段,	事務事業)		
	の可能性 目的を達成するには	+ この車殺車業	し 「		油性できる	7 - □ 休成会	マキャン -	□油堆できたい。■
	以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより	ハか?類似事業と ハ?類似事業との	☆ 統廃合できる へ			•	うできない 🕤	∠ ■連携できない 🕤
	期待できるか?	X 15051(321)	✓ 他に手段がない	【理由	1 👉			
	事業費の削減	余地	□削減余地がある			☑ 削減余地がな	い【理由】	<b>₽</b>
効率			入所者に対して、心身の 削減はできない。	の健康の	の保持及び	「生活の安定の為、介	護、看護、料	埋、処遇のサービスを提供する為に
性評	人件費(延べ美 減余地	業務時間)の削			·	▼ 削減余地がな		·
価	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員 <sup>2</sup> いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな		氏下防.	止と日常生			多い為、職員をやりくりしている状態 クリェーション等にも時間を有効に
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余地があ	る【理	曲)	☑ 公平・公正で	ある【理由】	
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者		、介護	、看護、料			理、処遇のサービスを提供する為に こいる。対象収入によって、階層区
			:(次年度計画と予算				当課長記入	欄】
(1)	) 1次評価者として 目的妥当性		■ 見直し余地あり	(2) 1	14総括(1	振り返り、反省点)		
	有効性		□ 見直し余地あり	老人	トームの運	営事業としては、入所	者が、生きがし	いのある快適な生活を送れていると
	効率性	☑ 適切	■ 見直し余地あり		概ね適切で			
(2)	公平性	☑ 適切	見直し余地あり				Lan	1-++ 1-+ 1- 1- 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1
	□ 廃止 □ 休止 □ 日的再設定 □ 事業統廃合·連打	□ 事業の □ 事業の	案)・・・複数選択可 )やり方改善(有効性改: )やり方改善(効率性改: )やり方改善(公平性改:	<b>善</b> )		伏維持 通りで特に改革改善₹	(房	改革・改善による期待成果 隆止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
<	改革改善案 >							向 上 成維 果 低 下
(5)	)改革、改善を実現	₹する上で解決で	すべき課題(壁)とその	の解決	 策			

No.	480-020	事	務構	長安寮老人ホ	マン 運営事業	É			所 属	部 保健福祉		
110.		事業	白						所 属	課 横川長安	寮	
政策				あい支えあうま	ちづくり				課長	名 前田耕馬		
体系	<b>加</b> 東石			祉の推進					所属G(f			
11.23	基本事業名	-		の自立支援サ					電話番	号 72-0146		
3	<b>予</b> 算科目	会計 一般			事業 47010	事業名管理運営	貫		福祉法 霧島 に関する条例		−ムの設置及び	
事務	事業の概要()	具体的	匀なやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全仏	本像を記述)		事業期	間	
横川長	長安寮入所者に	対して	て、心身の	の健康の保持及び	が生活の安定の	為、介護、看語	隻、食	事、栄養管理、処〕	遇サービス [	単年度のみ	-	
				:雰囲気と住みよい る施設で、市が設			れる園	生活を築く。				
作典ノリモ	文女景は、横川	いヤス	て即にめ	の記さて、いいは	直、座台で1]フ	CN19°			•	<b>』</b> 単年度繰返	0 -	
									_		S 31 年度~)	
										」期間限定複数 ┗( 年度		
1 現	!状把握の部(	DO)								<b>→</b> ( +/ <b>½</b>	<b>TIX</b> )	
(1) 事	務事業の目的	りと指	標									
	段(主な活動		ı_/ <b>_</b>	4. )~ = L				活動指標(		動量を表す指標)	<u> </u>	
	年度実績(20 <b>差護</b> 食事のは			<mark>こ王な沽動)</mark> 動、レクリェーショ)	ン A 所来の何:	里計画 先活		) EC == *h / f	名称 生のせいじつ	ナ:日/H:   t_	単位	
	預かり金の管理				ノ、八川百の処	四二四、土/白		ア 数)	他設り一と人	を提供した人	人	
							, L					
2 1:	年度計画(21	年度	に計画	している主な活動	動)		$\Rightarrow$	1				
	度と同様				,		,	ウ				
対	象(誰、何を対	対象に	してい	るのか) *人や	自然資源等	1.0.4.10 A		対象指標(対	付象の大きさを	表す指標)	W / <del>L</del>	
				経済的理由及び	境境上の埋田	かあり、ある	1	フル氏老数	名称		単位  人	
程度自立した生活が送れる方)     入所者は、別事業である福祉事務所の入所判定委員会事業において決定され アンカ所者数 インター・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン												
る。												
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
快適で明るい生活を送る。   名称   一 名称   アー施設の生活に関する満足度												
							$\Rightarrow$		運営に対す		<u></u>	
								ウ				
	果(どんな結			けるのか)				上位成果指		成度を表す指標)	W / <del>L</del>	
が護・	福祉サービスか	プラファ	られる					ア 介護サービスや介護	名称 とおります とりょう	福祉サービスの利用者数	単位  人	
								1	200,000	III III CAOAAAA		
							,	ウ				
(2) 総	事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度				
	の推   <sub> </sub>   国庫支出		千円	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)				
	別都道府間さ		千円									
事業	源 地方信		千円									
投費	訳 その作	池	千円	42,466	40,299	39,97		44,105				
入	一万只只	<u>源</u> (A)	千円	31,153 73,619	29,046 69,345	29,8° 69,79		31,156 75,261				
量—	サボ共引	(**)	117	70,019	00,040	00,73		70,201				
<u> </u>	<u> </u>	. (5)	7	70.040	00.045	00.7		75.004			•	
14-	ータルコスト(A)	+(B) ア	十円	73,619 56	69,345 52	69,79	53	75,261 60				
	   活動指標			30	JZ	•		- 50				
		イ ウ										
	<u></u>	ア	人	56	52	- (	53	60				
	対象指標	イウ					-					
<u> </u>		ア	%	未把握	未把握	未把	握					
	成果指標	イ	件	0	0	71/10	0	0				
	•	ウ										
_	. 公式田七年	ア	人	4,604	4,673	4,74	12	4,889				
<u>-</u>	位成果指標	イウ					+					
(3) 重			と,住民									

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和31年6月横川町立養老院として30人で発足。昭和38年12月の増改築で50人に増員し昭和56年7月移転、昭和57年2月横川養護老人ホーム長安寮 と名称を変更し入所定員を60名に増員現在地に移転する。平成17年11月合併により、霧島市立となり現在にいたる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年4月1日、老人福祉法第17条第1項の規定による養護老人ホームの設備及び運営に関する基準が改正され養護老人ホームにおいても入所者の 介護保険利用が可能となる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 入所者,家族ともに喜ばれている。

	事務事業名 横川	長安寮老人	、ホーム運営事業		所属部	保健福祉部	所属課	横川長安寮
2	<b>評価の部</b> (SEE) * 原原 政策体系との整合性					☑ 結びついている	【理由】 「	<u>5</u> .
目	この事務事業の目的は市 策体系に結びつくか?意 が結果に結びついている	5(町)の政 意図すること #						から政策体系に結びつく。
的妥	公共関与の妥当性		□見直し余地がある	る【理	由】つ	☑ 妥当である 【理	曲】	
評	なぜこの事業を市が行わらないのか?税金を投入する目的か?	ルア 達成 ピ	昔置入所理由は老人福 が困難な高齢者が入所				「環境上の	理由」により居宅にて生活をする事
価	対象・意図の妥当性	生	□見直し余地がある	る【理	由】 🤝	☑ 適切である 【理	由】	
	対象を限定・追加すべき 限定・拡充すべきか?	か?意図を	入所定員60名で対象者	がは限る	官すべきで	ある。		
	成果の向上余地		□向上余地がある	【理由	1] <del>2</del>	▼ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余地は 果の現状水準とあるべき; 異はないか?何が原因で が期待できないのか?	水準との差	季節に応じて各行事の で希望者は介護保険の				淫施し、快通	面な園生活を送っている。要介護者
有	廃止・休止の成果へ	への影響	□影響無 【理由】	<b>₽</b>		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	郷の右無とその内容けっ		入所者個人個人の日常 ながる。	生活σ	)世話をして	てくれる所が無くなり経済	野的負担の	増加、快適な生活環境の悪化につ
価	類似事業との統廃 <sup>・</sup> 可能性	合・連携の	□ 他に手段がある     □	(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには、この		□ 統廃合できる 🕤		連携できる	5 🦜 📗 統廃合で	きない 🕤	✓ 連携できない 与
	以外他に方法はないか? との統廃合ができるか? の連携を図ることにより、)	類似事業と	介護施設ではなく、養護	老人加	<b>ホームであ</b> る	3.		
-	が期待できるか? 事業費の削減余地	1	✓他に手段がない			コッぱんせがたい	加出	
			■削減余地がある	(理世	11 🕩	☑ 削減余地がない	【理田】	<b>7</b>
効率	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	i正化、住民 /	入所者に対して、心身 <i>0</i> こ削減はできない。	)健康(	の保持及び			里·処遇のサービスを提供するため
性評	人件費(延べ業務印 減余地	時間)の削	■ 削減余地がある	【理由	1] 🤣	▶ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延べ業	「げずにより   託でできな  で	入所者は高齢であり、症 いる状態である。入所者 を有効に使っているため	が機能	低下防止	と日常生活の自立へ向	き添い等も けて、クラフ	。多いため、職員の配置を工夫して ブ活動・レクリエーション等にも時間
公	受益機会·費用負担 化余地	担の適正	□見直し余地がある	る【理	由)之	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
平性	心赤地		) 年本に対して 人雄	<b>手</b> 拼 \	约TB 50°B	のサービュけん並に生	- TIIZ +	ᆉᅀᄱᆚᇆᅡᇹᅎᄣᄝᅈᄼᅑᆂᇄᄫ
評	事業の内容が一部の受益 ていて不公平ではないか 負担が公平・公正になって	1? 受益者	へ所有に対して、介護・ 隼がきまっている。	1目 刊	计连'处)。	ガリーとスは公平に行う	o Cuio, X	対象収入によって階層区分があり基
3	評価結果の総括と今後 1次評価者としての評		次年度計画と予算へ			) 担当 長り返り、反省点)	果長記入	
(',	目的妥当性 🔽		_	(-)	11.110.111 (3)	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		
	有効性 🔽 効率性 🔽		□ 見直し余地あり <b>□</b> □ 見直し余地あり			軍営事業に添った運営 <sup>・</sup> 支援を受けながら楽しい	-, , ,,,,	も毎日が家庭的な雰囲気と住みよ
	公平性		」見重し赤地あり 」見直し余地あり	V 12002	נטיטכי, דו	文版と文目をから来りい	1MT/11 6	25 7 (110)
(3)	今後の事業の方向性	(改革改善案	€)・・・複数選択可	<b>÷</b> \	F 10.1	<b>∆</b>		改革・改善による期待成果
<	☑ 廃止 ☑ 休止 ☑ 目的再設定 ☑ 事業統廃合·連携 改革改善案 >	□ 事業の	やり方改善(有効性改善 やり方改善(効率性改善 やり方改善(公平性改善	<b>喜</b> )	▼ 現 (従来i	大維持 通りで特に改革改善をし		<ul><li>器止・休止の場合は記入不要)</li><li>コスト</li><li>削減 維持 増加</li><li>向上</li><li>成 維果持</li></ul>
			A	<b>AT.</b> 1				低下
(5)	改革、改善を実現する	上で解決す	べき課題(壁)とその	解決詞	朿			
1								

## 事務事業評価シート 平成 20 年度

N	_	480-030 事	Į ;	務口	业 小 差 业 国 夬 ↓	士 / 浑兴草	= <del>\\</del>			所 属 音	<b>保健福祉</b>	部
N	0.	460-030	業:	名 🗀	当山春光園老人	、小 - 厶連吕事	₹			所 属 説	果 日当山春	光園
πh	~~	政策名 0	5	たすけ	あい支えあうま?	ちづくり				課(園)長名	今 吉 睹	美
政体		施策名 0	3	地域福	量祉の推進					所属G(係)	管理係	
14	ホ	基本事業名 0	4	高齢者	6の自立支援サ	- ビスの推進				電話番号	를 42-0001	
			計	款		事業	事業名		法今 老人和		養護老人ホ-	- 人の設置及
	子	算科目 -	·般	0 3	0 1 0 6	47010	管理運営	費	根拠で管理	里に関する条例		ムの収量及
車	黎国	【業の概要(目/	休於	17:4511	<b></b> D方、手順、詳細。		数年度重要	  ナ수/			事業期	問
									<u>本像を記述)</u> 5、栄養管理、処	遇の   □	<del>- 単来知</del> 単年度のみ	<del> </del>
サ	E	こえを提供し、入	。 所i	者が毎	日を家庭的な温	かい雰囲気と	住みよい環	環境の	もとで、明るく、楽	いく、生 一	<b>一一及</b> 000	
き	がし	を感じられる園	生	舌を築り	〈。 日当山春光	園は、隼人の	北部にある旅	も設て	で、市が設置、運		単年度繰返	
て	いる	10										S 49 年度~)
											期間限定複数	
										<u>L</u>	(年度	~ 年度)
		状把握の部(De										
(1)		務事業の目的の	と指	標				1	`7.4L1E1#			
0	手	段(主な活動) <mark>- 度実績(20年度</mark>	± 1− -	را دا ــ ا	++\:\T=\				<u> </u>	事務事業の活動 <mark></mark> 名称	量を表す指標)	単位
					<del>エは活動)</del> 管理、クラブ活動	h レクリェ <b>ー</b> ミ	/コン/ 生活		λ 紀 字粉 / 첫	<u> つか</u> 拖設サ - ビスを	+□ /++   <i>+</i> _	半加
					目は、ハノノ店里 い)金等の管理、				ア 数)	世収り - レ人で	延供した人	50人
10	<del>-1</del> /	,小一日少吃過	⊣ı⊫	コ、コスル	, <u>m</u> . g . v . p . tr./	HITMET H	, 7/,	L.	<b>XX</b> )			
2	1年	度計画(21年度	三(二)	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1			
		・ 皮計画(21年)5  と同様	ال ا		ている工で1日割	J		,				
133									ウ			
	対:	象(誰、何を対象	象に	してい	るのか) *人や[	自然資源等			対象指標(対	対象の大きさを表す	す指標)	
日					以上で経済的理		理由があ		N) WI III (N	名称	) Ja (3.7)	単位
		る程度自立した					_, ,,,		ア入所者数			50人
入所者は、別事業で開催される福祉事務所の入所判定委員会事業に / イ ウ ウ ウ ウ ウ カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
<b>"</b> Нъ		<mark>凶(この事業に</mark> :明るい日常生活			象をどう変えるの	(ימכ)		成果指標(対	<mark>対象における意図</mark> 名称	図の達成度を表	<del>す指標)</del> 単位	
(X)		明のい口市土泊	で区	ි ව .				_	ア施設の管理		<b>芒</b> 售 <b>件</b> 数	0 件
								$\Rightarrow$	イ	注口[[入]する]		V IT
									<del>ن</del>			
	結	果(どんな結果	に緑	が付け	けるのか)				上位成果指	標(結果の達成原	度を表す指材=	
介	護·褚	<b>冨祉サ - ビスが</b> 受	きけら	られる。					名称 単位			
									ア 介護・介護を支援・福祉サ・ビスの利用者数 50人			
								,	<u>イ</u> ウ			
(2)	総	事業費·指標等		», ,,	18年度	19年度	20年度		21年度			
` '		の推移	3	単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
		国庫支出:	金	千円								
	事	源。都道府県支出	金	千円								
	業	内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		千円	40,242	35,453	37,1	15	40,495			
投入量	費	事業費・指標等 の推移 財源内 地方債 その他 一般財源	Ę	千円	18,635	22,136	22,47		25,075			
스		事業費計(A	١)	千円	58,877	57,589	59,59		65,570			
重												
	Ļ	A11 = = 1 /A	(D)	7 m	F0 077	F7 F00	F0 F1	22	65 570			
	۲.	- タルコスト(A) +	(B) ア	千円 50人	58,877 50	57,589 50	59,59	50	65,570 50			
	;	活動指標	イ	30)	30	30	•	-	30			
	•		ゥ									
			ァ	50人	50	50		50	50			
	;	対象指標	1									
			ウ	0/	+ tw to	+ 1m10		$\perp$				
		成果指標	アイ	<u>%</u> 件	未把握	未把握		0	0			
		以未徂信	イウ	1+	0	0		U	U			
			ア	50人	4,604	4,673	4,74	12	4,889			
	上	位成果指標	1		1,00 F	1,010	-1,1	-	1,000			
L	_		ゥ									
(3)	重	終事業の環境?	か イン	/.住모	辛日笙							_

護保険利用が可能となる。

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和27年5月鹿児島県社会福祉事業協会により定員30名で発足。昭和33年定員50名に増員。昭和49年8月隼人町に移管され、「隼人町立日当山春光園」と 名称変更、昭和54年4月から現在地に移転し、平成17年11月、合併により霧島市立となり、現在にいたる。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年4月1日、老人福祉法第17条第1項の規定による養護老人ホームの設備及び運営に関する基準が改正され、養護老人ホームにおいても入所者の介

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 入所者、家族ともに喜ばれている。

	事務事業名	日当山春光園	老人ホ・ム運営事業	Á	所属部	保健福祉部	所属課	日当山春光園			
2	評価の部(SEE) * 政策体系との整		価、ただし複数年度事 ■ 見直し余地がある			✓ 結びついている	【理由】	<b>₽</b>			
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	? 意図すること	施設において、各支援を	施設において、各支援を受けながら快適で明るい日常生活を送れることから政策体系に結びつく。							
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある	【理由】	<b>₽</b>	☑ 妥当である 【理	曲】				
評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?		昔置入所理由は老人福祉法第11条による。「経済的理由」及び「環境上の理由」により居宅にて生活をすること が困難な高齢者が入所できる施設が必要である。								
価	対象・意図の妥	F当性	■見直し余地がある	【理由】	<b>₽</b>	☑ 適切である 【理	理由)ラ				
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		入所者定員50名で対象	者は限定	<b>≧すべき</b> ⁻	である。					
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理由】 🕞 🔽 向上余地がない 【理由】 🦫								
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	食事、レクリエ - ション、季節に応じた行事等が提供され、日常の快適な生活を送られている。又、介護認定者 で希望者は介護保険外部サ - ビスを利用している。								
有	廃止・休止の成	成果への影響	□影響無【理由】	Đ		▼ 影響有 【その[	内容】 🕤				
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		入所者個人個人の日常生 つながる。	<b>E活の世</b>	話をして	くれる所がなくなり、経	済的負担の	増加、快適な生活環境の悪化に			
価	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(	具体的机	は手段 , !	事務事業)					
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 与	□ 連	携できる	→	ごきない 🕤	■連携できない 🕤			
	以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより 期待できるか?	?類似事業との	介護施設ではなく、養護者			j.					
	事業費の削減	余地	<ul><li>──他に手段がない【</li><li>──削減余地がある</li></ul>			▼ 削減余地がない	1【理由】	<u>₹</u>			
効率	成果を下げずに事う いか?(仕様や工法 の協力など)		入所者に対して、心身の めに削減はできない。	建康の伊	<b>戻持及び</b>	生活の安定のため、介	·護、看護、1	食事、処遇のサ・ビスを提供するた			
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある	【理由】	<b>₽</b>	▼ 削減余地がない	1【理由】	<b>₽</b>			
		を下げずにより や委託でできな	入所者は高齢であり、病感態である。入所者の機能化に使っているため、削減の	低下防」	上と日常会	病院受診も多々あり、代 生活の自立へ向けて、	tき添い等も クラブ活動・	多いため、職員をやりくりしている状 レクリエーション等にも時間を有効			
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	□見直し余地がある	【理由】	<b>₽</b>	☑ 公平・公正であ	る【理由】	<b>₽</b>			
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者		て、介語	護、看護			食事・処遇のサービスを提供するた 〒っている。対象収入によって階層			
	評価結果の総括と1次評価者としての		(次年度計画と予算へ			) 【担当 長り返り、反省点)	課長記入権				
(')	目的妥当性	☑ 適切	🔲 見直し余地あり 📥	,							
	有効性 効率性					営事業としては、入所者 っていると考えます。	が楽しく健	全な環境のもとで、生きがいのある			
	公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり								
	今後の事業の方向 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連接 □ 事業 統	□ 事業 <i>0</i> □ 事業 <i>0</i>	案)・・・複数選択可 )やり方改善(有効性改善)やり方改善(効率性改善)やり方改善(公平性改善)	)	<b>▽</b> 現4 (従来)	犬維持 通りで特に改革改善を	( )	改革・改善による期待成果   発止・休止の場合は記入不要)   コスト   削減   維持   増加   向   上			
								成維果持 低下			
(5)	改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその角	¥決策							

					2.373 2.7	~ H I I I I I							
No. 480-040 事務 事業名 国分舞鶴園生活指導型ショートスティ事業 所属 部 保険福祉部 所属 課 国分舞鶴園													
	政策名 0			·あい支えあうま?	<b>!</b> づ/!1				所 原 課 長				
政策	佐笙夕 0			<u>めい文元の7よき</u> 記祉の推進	5 2 ( )				所属 6		<u>×</u>		
体系	<b>\</b>			************************************	-ビスの推進				電話				
		, <u>.</u> 会計	款		事業	事業名		はかま		島市立養護老人7	ホールの記罢乃		
		一般	3	1 6 4	17010	管理運営貿	Ę		で、一種性は、新いた。		ハームの改画及		
事務	 事業の概要(具	体的	りなやり	┃ 〕方、手順、詳細。	期間限定複	数年度事業Ⅰ	ま全	体像を記述)		事業期	間		
福祉	事務所からショー	トステ	- ィの依頼	頭があった高齢者?					に受け入れ、	□ 単年度のみ	, <del></del>		
日常	生活の指導・体調	管理	を図る。							= w++			
										☑ 単年度繰返	H 12 年度~)		
										□ 期間限定複数 □ 期間限定複数			
										┗(年度			
	見状把握の部(ロ		1										
	事務事業の目的 F段(主な活動)	と指	襟					<b>汗</b> 新性:	西(車殺車器の	活動量を表す指標)			
	F段(王は治勤) 年度実績(20年)	度に	行った	主な活動)				/白宝//1日/	<del>原(争物争素の</del> 名称	/白勁里で衣り拍信/	単位		
	、看護、食事の提							ア入所者			人		
								ア人別有数	žΧ				
	左京之三 / a a 左	r÷ 1—	±1				$\Rightarrow$	1					
	牛 <b>皮計画(20年</b> 度と同様	度に	計画し	ている主な活動	)		7						
100 1	1 <b>2</b> C 1 - 3 1 A							ウ					
Ż	寸象(誰、何を対	象に	してい	るのか) *人や目	自然資源等			対象指標	漂(対象の大きる	を表す指標)			
ショー	-トスティで入所し	てい	る老人				_	- \ rr +x	名称_		単位		
							$\Rightarrow$	ア人所者	<b>X</b>		人		
								ウ					
				象をどう変えるの	つか)			成果指		る意図の達成度を表			
規則	正しく快適で明る	い日.	常生活を	主送る。			_	マ体証の	<u>名称</u> +チに思する	<b>举见</b> 在	単位 %		
							$\Rightarrow$		ア 施設の生活に関する満足度 %				
								ウ					
	<mark>吉果(どんな結果</mark> ・福祉サービスが			けるのか)				上位成界	<mark>!指標(結果の</mark> 名称	<mark>達成度を表す指標)</mark>	単位		
기 砖	・抽性リーレスか	又门:	2118				_	フ 人雄井 ピュル人雄と士福士ュ井 ピュ 短知井 ピュル利田本料					
							$\Rightarrow$	1					
(2) 4	総事業費·指標等	<b>*</b>	ı	18年度	19年度	20年度	1	ウ 21年度					
(Z) ñ	の推り		単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)					
	国庫支出	金	千円			•		•					
Ę	都道府県支護 地方債		千円 千円										
+л a	源 地方債 地方債 での他 一般財 事業費計(		千円	35	87		0	87					
按 [ ] λ	一般財源	原	千円	71	179		0	179					
量_	事業費計(	A)	千円	106	266		0	266					
	トータルコスト(A) +	<del> </del>	千円	106	266		0	266					
	活動指標	アイ	人	3	1		0	5					
	74233418	j											
	+++++=	ア	人	3	1		0	5					
	対象指標	イウ											
		ア	%	100	100		0	100					
	成果指標	1											
		ウマ	<i>//</i> +	4 604	4,673	4,74	2	1 000					
フ <mark>件</mark> 上位成果指標 イ			4,604	4,073	4,74	4	4,882						
_		-							1				

ウ (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成12年12月に現在地に移転新設されショートスティ室を3室確保。その為、福祉事務所からサービス提供依頼があり、受け入れている状況である。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成12年度1人、13年度1人、15年度1人、17年度1人、18年度3人、19年度1人利用している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

	事務事業名	国分舞鶴園生 業	活指導型ショー	トスティ事	所属部	保険福祉部	所属課	国分舞鶴園		
2	評価の部(SEE) 政策体系との整			(年度事業に 地がある【理		✓ 結びついている	(理由)	<b>₽</b>		
	が結果に結びつい	か?意図すること	施設において、・	一時的に各支	を 援を受けな	がら快適で明るい日常	き生活を送れ	れることから政策体系に結びつく。		
的妥	公共関与の女		□見直し余	地がある 【理	曲】	☑ 妥当である 【理	理由)プ			
評	なぜこの事業を市からないのか?税金をする目的か?	が行わなければな ₹投入して、達成	霧島市保険福祉 入れており妥当・		言福祉課の月	所管による老人短期入!	所運営事業	実施要領に基ずき短期入所を受け		
個	対象・意図の多	妥当性	□見直し余:	地がある 【理	曲)プ	☑ 適切である 【理	理由 プ			
	対象を限定・追加す限定・拡充すべきか		ショートスティ事	業の対象者で						
	成果の向上余	地	□向上余地がある【理由】 🦜 🔽 向上余地がない【理由】 🕠							
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	がき水準との差 原因で成果向上	短期入所である為、特に無い。							
有	廃止・休止の原	成果への影響	厂影響無	【理由】 🦜		▼ 影響有 【その[	内容】 🕤			
効性評	事務事業を廃止・体 響の有無とその内容		高齢者を一時的	に世話をする	8施設が無く	なり、本人・家族が困窮	言する。			
価	類似事業との 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段	设がある(具体	的な手段,	事務事業)				
	目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに	ハか?類似事業 か?類似事業と	□ 統廃合で 介護認定者は介	・ 護施設に介護		•	•	・ ■連携できない ラ 人は、経済的負担が大きい為、養護		
-	が期待できるか?	수놴	☑他に手段	がない【理由がある 【理日		▼ 削減余地がない	、 /I用 由 l			
	事業員の削減 成果を下げずに事業				•			•		
効率	いか?(仕様や工法の協力など)		入所者に対して、 に削減できない。		の保持及び	《生活の安定の為、介記	蒦、看護、彩	理、処遇のサービスを提供する為		
性	人件費(延べ) 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地	がある 【理日	山力	☑ 削減余地がない	1【理由】	<b>₽</b>		
	やり方を工夫して延 減できないか?成身 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	養護老人ホーム	運営事業の関	哉員体制の!	中でショートスティ事業の	の運営を行	っている。		
公平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余	地がある【玛	曲】	☑ 公平・公正であ	る【理由】	<b>₽</b>		
半性	事業の内容が一部の	の受益者に偏っ	入所者に対して、	、介護、看護、	料理、処退	量のサービスを公平に行	うっている。	実施要領で1日当たり381円及び飲		
評	ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	よいか? 受益者	食物等の実施負	!担となってい	る。					
	評価結果の総括。 ) 1次評価者として		:(次年度計画と			l) 【担当 辰り返り、反省点)	課長記入			
(1,	目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あ	51) 📥 🐪	に k+ wp1口 ( );	成り込み、及目点)				
	有効性 効率性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>		1.7.1.2				、一時的に生きがいのある快適な )いると考え、概ね適切である。		
	公平性	☑ 適切	見直し余地あ	51)			·	,		
(3)	) 今後の事業の方  □ 廃止 □ 休止		案)・・・複数選技 )やり方改善(有効		☑現	犬維持		) 改革·改善による期待成果 発止·休止の場合は記入不要)		
	□ 目的再設定 □ 事業統廃合·連	□ 事業の	)やり方改善(効率 )やり方改善(公率	率性改善)	(従来)	通りで特に改革改善を		**・ コスト 削減 維持 増加		
	改革改善案 >		, ,	, i						
(5)	)改革、改善を実現	見する上で解決で	すべき課題(壁)	とその解決	朿					
1										